

2. ボランティアコーディネート (ボランティア相談・センター事業の広報)

ボランティア・NPO 活動センターでは、ボランティア活動を希望する学生へ情報提供等を行い、地域団体からはボランティア募集の相談に応じるなど、この両者をつなぐ役割を担っています。

センターには学生スタッフが所属しており、相談に来室する学生の初期対応を担い、同じ学生ならではの視点でボランティア活動の紹介を行っています（ピアサポート）。その他の専門的な知識が必要なケースはコーディネーター（職員）が対応しています。さまざまな相談対応を通して、ボランティアへの理解と参加の促進に努め、これを「ボランティアコーディネート」と呼んでいます。

大学内にセンターが存在することにより、学生や教職員の自発的かつ主体的なボランティア活動へのアクセスが容易となり、地域貢献にもつながっています。また、これらの活動を通して、学生自身の成長にもつながっています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面での課外活動に制限がかかる時期がありました。しかし前年度に比べるとそのような期間も少なく、また学生の何か活動をしたという気持ちが高まっていた事もあり、相談件数は前年度に比べて大幅に増えました。コロナ禍前の水準には届きませんでした。学生の何かしたい！という想いを強く感じた1年でした。

また、広報手段に関して、従来のポスター掲示等も行いながら、前年度に引き続き SNS や HP などオンラインを中心に取り組みました。特に Twitter はフォロワー数が1,000人を超え、有用な広報ツールとして機能しています。今後も、状況を見ながら、学生の希望に沿ったボランティアコーディネートや広報が出来るよう、試行錯誤を続けていきます。

ボランティアコーディネート集計（月別、活動希望分野別、学部別相談者数）

■月別相談者数（複数回答あり）

(件数)

月	ボランティア相談		学生スタッフ相談		センター企画相談		情報収集		その他		計	
	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田	深草	瀬田
4月	30	41	99	22	1	0	8	10	3	4	141	77
5月	5	9	16	2	0	0	0	0	1	0	22	11
6月	8	5	0	2	0	0	1	2	0	2	9	11
7月	19	21	4	2	2	0	0	1	2	3	27	27
8月	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
9月	11	10	2	0	0	0	0	2	0	0	13	12
10月	26	23	0	2	0	4	2	2	1	0	29	31
11月	3	14	2	1	0	0	2	1	0	0	7	16
12月	14	9	3	3	0	4	2	0	3	0	22	16
1月	17	12	1	1	0	0	4	2	0	1	22	16
2月	6	2	1	0	0	0	2	0	0	0	9	2
3月	3	4	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5
合計	144	153	128	35	3	8	21	21	10	10	306	227
両キャンパス年間計												533

■活動希望分野別相談者数（複数回答あり）

(件数)

希 望 分 野	相談者数		計
	深草	瀬田	
子ども・青少年	94	87	181
高齢者	16	31	47
障がい児・者	14	42	56
医療	5	15	20
国際協力・交流・在住外国人支援	54	39	93
人権	6	9	15
貧困	12	29	41
環境	53	70	123
災害	16	33	49
文化・芸術	17	23	40
スポーツ	11	14	25
動物愛護	8	31	39
平和	4	10	14
まちづくり	38	52	90
農業	6	48	54
中間支援	1	7	8
その他	15	16	31
合 計	370	556	926

■学部別相談者数

(件数)

所 属	相談者数		計
	深草	瀬田	
文学部	68	0	68
経済学部	41	0	41
経営学部	31	0	31
法学部	60	0	60
理工学部	0	2	2
先端理工学部	0	26	26
社会学部	0	123	123
政策学部	28	0	28
国際学部	43	0	43
農学部	0	59	59
短期大学部	0	0	0
大学院	2	0	2
他大学	1	0	1
教員	1	0	1
職員	1	0	1
無記入	2	0	2
合 計	278	210	488

■団体登録制度とボランティア募集情報シート

ボランティア・NPO 活動センターでは、ボランティアを募集する団体との協力・連携の体制を整備し、その団体の活動内容を把握することを目的として、団体登録制度を設けています。

学内でのボランティア募集情報の提供は、「団体登録票」を提出していただいた登録団体に限定しています。また、登録団体から広報依頼を受けたボランティア募集チラシは記載情報（実費弁償や活動保険の有無など）にばらつきがあるため、ボランティア相談に来室する学生に対してより詳しい内容の情報を提供することを目的として、ボランティア募集情報シートを主に学生スタッフが作成し、活用しています。

これらは、ピアサポートの視点で学生スタッフによるコーディネートを目指している中、彼らが授業の空き時間などを各自調整してシフトを組み、ボラ

ンティア相談に対応している現状においても、情報を共有しやすい方法だと考えています。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で多くの団体がボランティアの受け入れを中断されていました。そのため、団体登録自体の数も大幅に減少しました。状況が刻々と変化する中、登録団体のボランティア受け入れ状況の把握に努め、感染症対策をどのように講じて活動されているのかについてもヒアリングしました。ボランティアの受け入れを中断されている状況でも、こうして連絡を取り、関係を維持することで、活動が再開されたときに、より一層の連携が図れるのではないかと考えます。

コロナに対する認識が変わりつつある今後、多くの団体でボランティアの受け入れを再開すると思います。その時にスムーズに団体と学生を繋ぐ事が出来るよう、情報の収集に努め、団体と連携した活動を摸索していきます。

■団体登録数

(件数)

分野	京都府	滋賀県	その他 関西圏	関西圏以外	計
子ども・青少年	21	13	9	2	45
高齢者	1	2	4	0	7
障がい児・者	9	13	0	0	22
医療	0	1	0	0	1
国際協力・交流 在住外国人支援	4	2	1	1	8
人権	0	0	0	0	0
貧困	0	0	0	0	0
環境	4	4	3	3	14
災害	0	0	0	0	0
文化・芸術	3	0	0	0	3
スポーツ	1	1	2	0	4
動物愛護	0	0	0	0	0
平和	1	1	0	0	2
まちづくり	7	2	0	0	9
農業	1	0	0	0	1
中間支援	1	3	0	1	5
その他	2	2	0	0	4
合計	55	44	19	7	125

■外部団体来室内容と広報依頼件数

ボランティア・NPO 活動センターには、多くの団体からボランティア募集やイベント・講座・セミナー

の広報依頼があります。その他にも、国や他大学からの視察、行政との連携にかかる相談、さまざまなケースの来室に対応しています。今年度の主な受付内容は以下のとおりです

■相談内容別（1件あたり複数内容の受付あり）

(件数)

相談内容	深草	瀬田	計
広報依頼（ボランティア募集）	49	91	140
広報依頼（ボランティア募集以外※）	336	203	539
視察・ヒアリング	9	0	9
取材	2	0	2
その他	8	48	56
合計	404	342	746

※講座、セミナー、イベント開催案内、ニュースレター等

■受付団体種別

(件数)

受付団体	深草	瀬田	計
NPO 法人	74	55	129
社会福祉法人	83	80	163
一般社団・財団法人	9	11	20
公益社団・財団法人	71	69	140
その他の非営利法人	16	4	20
任意団体	25	31	56
幼稚園・保育園等	0	0	0
児童館・学童保育	0	1	1
小・中・高	0	0	0
特別支援学校等	1	0	1
教育委員会	2	7	9
他大学・専門学校	28	15	43
企業	28	30	58
公共施設・社会教育施設	31	17	48
行政機関	30	15	45
その他	0	2	2
学内	4	3	7
一般個人	2	2	4
合計	404	342	746

■広報依頼分野別（複数回答あり）

(件数)

広報分野別	深草	瀬田	計
子ども・青少年	68	68	136
高齢者	7	9	16
障がい児・者	24	28	52
医療	0	4	4
国際協力・交流 在住外国人支援	91	16	107
人権	8	0	8
貧困	1	0	1
環境	34	29	63
災害	9	9	18
文化・芸術	15	1	16
スポーツ	2	4	6
動物愛護	0	0	0
平和	10	1	11
まちづくり	12	22	34
中間支援	23	0	23
農業	0	8	8
その他	52	152	204
助成金	13	14	27
総合情報	64	21	85
ニュースレター	191	138	329
合計	624	524	1,148

チラシの配架やポスターの掲示

数あるボランティア情報やイベント・講座・セミナーなどの情報を多くの学生に提供するために、パンフレットスタンドにチラシを見やすく配架し、センターの掲示板に情報を掲示しています。

センター事務室内外でのラックの設置とチラシの整理、掲示板の管理などを学生スタッフが中心となって行っており、学生に向けたアプローチを工夫するとともに、この活動をコーディネートに活用しています。



講義やゼミ（演習）でのセンター紹介

センターではボランティア活動のきっかけ作りを目的として、講義やゼミ（演習）の中で、センターの紹介を行っています。

教員が希望する時間内で、ボランティアコーディネーター（職員）や学生スタッフがセンターを案内

し、センターの活用方法等を紹介しています。ボランティアに関心があってもなかなかセンターに来室するまでに至らない学生に、大学でボランティアの相談ができる場所があるということを知る良い機会となっており、今後も継続していきたい事業です。2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、前年度に比べると依頼は増えました。

【センター紹介実施一覧】

	日	対象学部	担当教員名	科目名等
1	4月15日(木)	社会学部	高松智画	基礎ゼミナール
2	4月15日(木)	社会学部	土田美世子	基礎ゼミナール
3	4月16日(金)	農学部	金子あき子	入門ゼミナール
4	4月21日(水)	法学部	井出真也	基礎演習
5	4月30日(金)	社会学部	柴田和子	NPO・NGO論/ ボランティア論
6	5月12日(水)	経済学部	松島泰勝	基礎ゼミナール
7	6月2日(水)	国際学部	カルロス・マリア 友永雄吾	国際文化実践I
8	6月25日(金)	農学部	山口道利	入門ゼミナール
9	10月22日(金)	国際学部	古川秀夫	NGO/NPO 論



ホームページ

センターに関連する事業を積極的に発信しています。今後も閲覧する方にとって情報を得やすく、ボランティア活動のきっかけとなるようなホームページ運営を行っていききたいと思います。



ボランティア・NPO 活動センター通信

学内向けのニュースレターを4月に発行しました。センターの自主事業や学生の各種活動の報告と予定のお知らせ、センター紹介の案内などを掲載しました。

SNS (Facebook, Twitter)

深草と瀬田両キャンパスのコーディネーターと学生スタッフが協力しながら、タイムリーな情報発信を随時行いました。各種センター事業、学生企画に関する情報だけでなく、学生スタッフの日常などを切り取り、センターをより多くの方に知っていただくように工夫しています。

昨年度より開始した「質問箱」を今年度も設置し、28件の学生からの質問を受け付けました。職員からだけでなく、学生スタッフからも定期的にツイ

トを行い、効果的な情報提供を行いました。フォロワー数も増え、1000フォロワーを突破しました。(2021年3月923フォロワー→2022年5月1213フォロワー)。

【Facebook 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	6	4	2	2	2	6
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	4	4	2	1	3	7
					合計	43

【Twitter 配信数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
配信数	62	15	18	14	15	31
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配信数	22	62	32	17	19	47
					合計	354



Facebook



Twitter



ホームページ



事業名	サークルへのボランティア促進・支援『サークル×ボランティア活動相談会』
実施期間	2021年6月～2022年3月
参加サークル	沖縄三線サークルうみいろ／手話サークル Do Activity Yourself／吹奏楽部／男声合唱団／グローバルサポーター
実施主体	ボランティア・NPO 活動センター

1. 経緯・目的

本学学生のボランティア促進の一環として、学内サークルに向けた地域活動のサポートや関係構築、センターの認知度向上を目指し、定期的な情報交換・情報提供の場である『サークル活動・ボランティア

活動 情報交換会』を2009年度より設けてきました。

2020年度はコロナ禍により、情報交換会をオンラインで行いましたが、共に会を運営していた学生スタッフとの今後の本事業についての話し合いで、「個々のサークルの課題が異なるため、本当に欲しい情報が提供できているか疑問だ」という意見があ

りました。

そこで、2021年度からは形を変えて、「自分たちの活動で地域に貢献したい」「活動の場を探している」「運営について悩んでいる」など申し込みのあった学内サークルに個別相談対応する方向で、再スタートすることになりました。

2. 概要

2021年度の相談は、以下の通りです。

	対応	サークル名
6/10	瀬田	沖縄三線サークルうみいろ
6/17	瀬田	手話サークル Do Activity Yourself
10/6	深草	吹奏楽部
12/7	深草	男声合唱団
2/2	瀬田	沖縄三線サークルうみいろ
3/23	深草	グローバルサポーター

3. 参加者の声・得られた効果など

各団体で相談・聴き取り内容は異なるものの、学生部への活動再開申請、練習上の課題など、どれもコロナ禍が大きな要因であり、とりわけ「活動の場がなくなったことで、メンバー募集に苦労している」というケースが半分以上ありました。

そういった団体には、メンバー獲得に向けてすぐにできそうなSNSを活用した広報面のアドバイスを行うとともに、今後活動する中でも相談にのることを伝えました。

そのうち、過去に当センターのボランティア企画にもよく協力してくれていた『沖縄三線サークルうみいろ』から、今年度をもって解散することにしたとの報告を2月に受けました。今まで使用してきた楽器のうち、キーボードを使ってくれる人や団体に譲渡したいとのことだったため、地域団体の中から繋ぐ先をセンターで探しました。

4. コーディネーター所感

年2回の一般同好会登録説明会のうち、後期登録についての説明会（9月実施）に参加し、本取り組みについてのアナウンス時間をもらったり、学内にはポスターなどを掲示しているものの、今後はもう少し効果的な広報を探る必要があると感じています。

また、ボランティア・NPO活動センターでサークル相談にのる本来の意義は、ボランティア系サークルの支援や、その他のサークルについては最終的にボランティア活動に繋ぐことであると思うので、そういったことに繋がるようなアプローチも考えていきたいと思っています。

〈報告者：ヒギンズ 尚美

（瀬田キャンパス コーディネーター）〉



サークル×ボランティア 活動相談会
サークル活動が活かせるボランティアと一緒に探したり、考えたりしてみませんか?

活動相談会、何のためにするの？

サークル活動を思うように進めることが難しい社会情勢…
「でも、活動を止めたくない！」というみなさん、サークル活動を充実させるため、新たなボランティア活動を生み出したり活動できる場を探すなど、ボランティア・NPO活動センターと一緒に新しいことに挑戦してみませんか？

対象： 鹿谷大学の公認サークル(各局所属団体、一般同好会)で下記に当てはまるサークル

- ・コロナ禍で自分たちの活動の場(または発表の場)がなくなっていると感じるサークル
- ・「自分たちの活動で地域に貢献したい」と感じているサークル
- ・運営について悩んでいるボランティア系サークル

相談の申込方法

・「今の状況を変えたい」「何か新しい活動にチャレンジしたい」の段階で構わないので、センターへ相談を希望するサークルは、
右記Googleフォームよりお申込みください。⇒⇒⇒

・Googleフォームにアクセスできない場合は、下記URLに記載している「メール申込の場合」に従ってお申込みください。
<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-9185.html>

・相談はすべて個別の予約制とし、センター開室時間で希望日時を調整します。